

狛江市オンライン会議用バーチャル背景の作成について

令和3年2月16日
庁議資料

No	内容	画像	使用用途	ふるさとメイシー	HP公開 (無料ダウンロード)
1	格子柄 (市章・将来都市像)		狛江市職員専用	-	-
2	狛江市特産品 (狛江市観光協会推奨商品)		狛江市職員専用	-	-
3	絵手紙発祥の地 - 狛江		狛江市職員専用	-	-
4	狛江の四季 (写真)		一般公開用	○	○
5	龍泉寺多摩川 (写真)		一般公開用	○	○
6	絵手紙発祥の地 - 狛江 (五本松)		一般公開用	○	○
7	絵手紙発祥の地 - 狛江 (野菜)		一般公開用	○	○

写

HIVE オンライン名刺付きバーチャル背景メーカー

テレワークで乗り切ろう!
テレワーク応援プロジェクト!!

ご当地写真素材を提供して

テレワークを応援しませんか?

テレワークやWEB会議などで使える背景画像が無料で作成できる「オンライン名刺付きバーチャル背景メーカー」。このオンラインサービスには「ふるさと写真」が選べる機能を搭載しています。

そこで、「ふるさと写真」としてご当地写真素材を提供して頂ける自治体さまを募集しております。

自治体さま

現在協力していただいている 市区町村様

一般の方々が、背景画像が無料で作れるサービスを提供します。
「オンライン名刺付きバーチャル背景メーカー」

ビデオ会議システムの背景画像に、地域の写真を入れて
地域を応援してもらうというサービスです。

地域ブランド向上の 新たなカタチとして

テレワークを応援しながら地域ブランドの向上を目指す!



皆様へのお願い

地域や故郷を代表する写真を5枚までご用意ください。風景や建物、など特に指定はありません。

ニュースリリースは、5月15日を予定
別紙のニュースリリース案を御覧ください。

よくある質問

Q.参加費費用がかかりますか？

A.一切費用はかかりません。

Q.背景メーカー利用者から利用料は取りますか？

A.背景メーカーは無料で提供されていますので、費用を取ることはありません。QRコード先のクラウドシステムに関しては、ご使用の場合のみ利用料がかかる場合があります。

Q.どんな写真がいいです？

A.町を代表する山や海、花や風景など、利用者が地域を感じてくれる写真がいいと思います。

Q.サイズの指定はありますか？

A.特に指定はありませんが、参考として、16:9 1920ピクセル×1080ピクセルなど、これ以上のサイズであれば大丈夫です。

Q.どうやったら参加できますか？

A.申し込みの上、写真データをお送りください。

Q.著作権とかはどうなりますか？

A.下記の利用上の注意事項をWEBサイトに掲載予定です。

写真利用上の注意

画像ファイルは無料でダウンロードできますが、画像の著作権は各自治体に帰属します。
使用に際しては次のことを遵守してください。

1. 使用用途は自治体のイメージアップに寄与するものに限りします。
2. 公序良俗に反するもの、その他非合法と見なされる制作物への使用は禁じます。
3. 特定団体(個人)の政治活動または宗教活動を著しく助長するおそれがある制作物への使用は禁じます。
4. 写真集、プリントTシャツ、絵はがき等、この画像そのものを商品化する使用は禁じます。
5. ご使用に際してはなるべく「写真提供:○○市」の表記を入れてください。

■ お問い合わせ

株式会社イーハイブ

住所 福岡市中央区天神 4-8-2 天神ビルプラス 8F



株式会社イーハイブについて

商号 : 株式会社イーハイブ

所在地

福岡オフィス：福岡市中央区天神 4-8-2 天神ビルプラス 8F

東京オフィス：東京都台東区台東 3-42-5

大阪オフィス：大阪市東淀川区西淡路 1-3-32

設立 : 1997年12月1日 (1995年創業)

提供サービス : ホームページ制作システム「コムログクラウド」<https://cloud.comlog.jp/>

障害者支援施設と共同開発スマートフォン向け簡易アプリ作成ツール

すまっぽん！ <https://www.smappon.jp/>



行政への実績

福岡県 ふくおかエコライフ応援サイト <https://www.ecofukuoka.jp/>

福岡県産業デザイン協議会 <https://www.fida.jp/>

福津市・うきは市・糸島市

防災すまっぽん！

福津市・人吉市

観光すまっぽん！



平井良明
イーハイブ
取締役統括責任者

スマホアプリ風HPが福津市で採用 イーハイブ 低コストを売りに全国展開目指す

スマートフォンアプリ風ホームページを作成するサービス「すまっぽん」を提供するイーハイブ（福岡市中央区天神4丁目、高橋善晴社長）は今年4月に福津市の防災用すまっぽんを開発、導入を支援した。平井良明取締役統括責任者は、「自治体のハザードマップなどは、緊急時にいざ取り出そうとしてもどこにあるかわからなくなる」といったケースに陥りやすいが、ウェブサイトなら

端末があればすぐに確認できる」と話す。「すまっぽん」は同社が㈱カムラック（福岡市博多区上呉服町、貫村研社長）と共同で開発したサービス。利用すると、月額3000円でスマートフォン上のアプリアイコンを模した任意のリンクが複数並ぶウェブサイトを作り配信することが可能。ウェブサイトであるためエンドユーザーは無料で利用できる。例えば、保育園がメールのリンクやスケジュールのリンクを並べた「すまっぽん」を作成し児童の保護者が保育園関連の情報を一括して閲覧することができ、サービスを利用し

作成された「すまっぽん」の数は約1000件。既存のウェブ上のサイト、サービスを利用できるため、アプリ開発に比べコストが著しく削減できる。福津市の防災すまっぽんは、天気予報、公共交通機関の運行情報など、さまざまなサイトに繋がると、オプショントで同社が開発したGPS対応の防災マップ、消防署登録のAEDの位置を示す地図も利用可能。

「すまっぽん」を防災用に生かすメリットとしては端末があればどこでも見られる点で、アプリとの違いは使用しない平時にスマートフォンメモリ容量を圧迫しないこと、アプリを入れるこ

とができない高齢者用などでも利用できることなどがある。平井取締役は「ホームページにアクセスするだけという手軽さは、緊急時でも大きな強みになる」と話している。またその強みを生かすため、飲料メーカーと提携し自動販売機にQRコードを掲載し、旅行者にも使いやすくするアイデアがあるという。

平井取締役は「防災すまっぽんは便利で手軽なサービス。予算の面で大きなメリットがあるため、全国の自治体に採用していただきたい」と話し、来年中に1000の自治体での利用を狙う。

